

2. 地域別構想

(1) 糸満地区

1) 地区の成り立ち

- ・字糸満、照屋、真栄里の一部地域を含む地区である。字糸満は旧糸満町から発展してきた商業の中心であった。
- ・照屋は糸満市街地の東側に位置し、照屋城跡は三山時代に南山の交易品の庫であったといわれている。
- ・真栄里の一部は、字糸満から市街地が県道豊見城糸満線（旧国道 331 号）沿道に開発された地区が編入されている。

【人口・世帯】

資料：国勢調査（R2 年）

【面 積】約 277ha
【世 帯 数】6,184 世帯
【人 口】15,311 人
【人口密度】約 46.0 人/ha

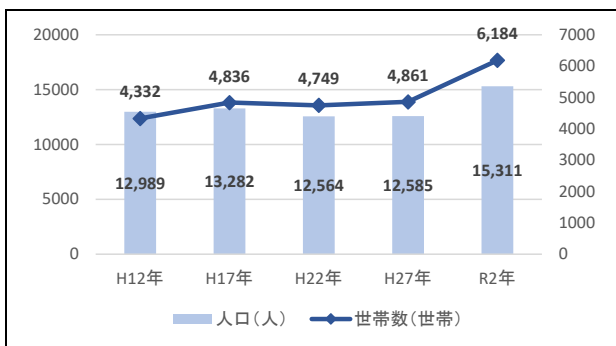
【人口の推移】

平成 12 年	12,989 人
平成 17 年	13,282 人
平成 22 年	12,564 人
平成 27 年	12,585 人
令和 2 年	15,311 人

【人口増加率】

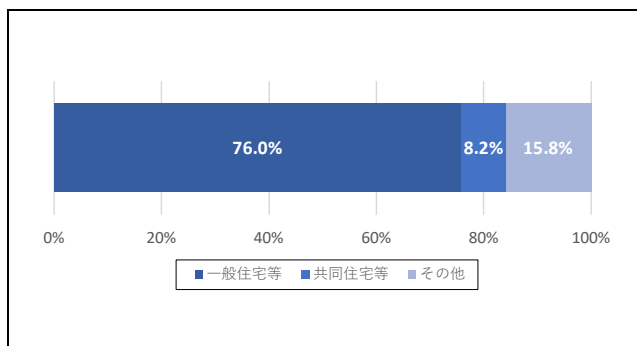
2.2%
-5.4%
0.1%
21.6%

【人口・世帯数推移】 資料：国勢調査（H12～R2 年）



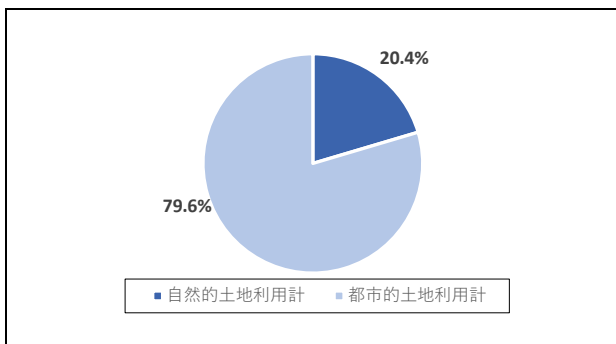
【建物】

資料：都市計画基礎調査（H28 年）



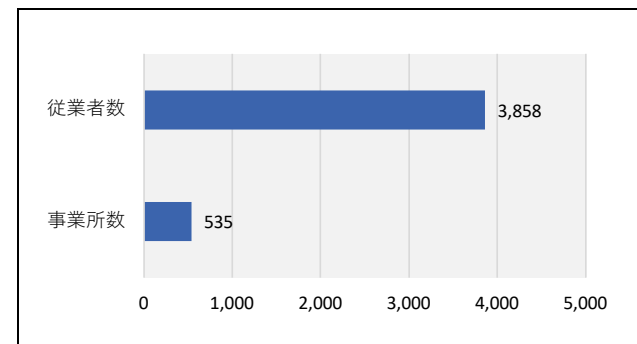
【土地利用】

資料：都市計画基礎調査（H28 年）



【事業所数】

資料：経済センサス（R3 年）



【公共公益施設】

小学校 2 校	高校 1 校	集会場 10 施設	社会福祉施設 5 施設	文化体育施設 なし
中学校 1 校	その他学校 2 校	公園 11 カ所	行政施設 3 施設	その他 3 施設

【地域の文化財など】

国・県・市指定文化財 3 カ所	埋蔵文化財 3 カ所	御嶽 2 カ所	その他 7 カ所
-----------------	------------	---------	----------

2) まちづくりのテーマ(将来像)

海の文化薫るまちづくり ～スージ小を活かした細街路の整備～

<背景>

糸満地区は、漁業のまち糸満の発祥地です。漁村として発展する過程での畑地や干潟の水田跡地における市街地、計画的埋立地、伝統集落、土地区画整理事業地区など、都市基盤施設の整備状況も様々です。

そのような中で、スージ小と呼ばれる東西に細長い細街路に代表されるように、道路や公園等の都市基盤整備の遅れが目立つ地区を廣大に抱えています。しかしながら、そこは昔ながらのコミュニティが息づき、ハーレーをはじめ、白銀堂、山巔毛など海に関わる伝統行事・歴史資源を抱え地域住民の心が表現された場所です。

今後は、歴史・文化、環境、人が結びついたスージ小の良さを活かしつつ、安全で利便性の高い漁業のまちや地域商業地の再生、住む人にやさしい住環境の整備が課題となっています。

3) 整備の方針

①生活基盤に関する方針

<漁港を活かしたまちづくり>

字糸満は漁村として発達してきた街であり、その中心地区として、中地区漁港が位置しています。その歴史、資源を活かすべく、以下のような整備を目指します。

- 中地区漁港の周辺部において、市民の憩いの場として、また地域内の回遊性を高めるために、新糸満漁協事務所の整備と連携し、環境整備を促進します。(糸満漁港周辺地区風景づくりビジョン)
- 漁村としての資料、イベント等の資材保管、及びそれらの展示を行い日常的に海の文化に接することのできる環境づくりを継続します。
- 高干瀬地区埋め立て事業を推進し、事業により新たに確保される用地の適切な土地利用を図ります。

<地域密着型の商業地区の再生>

現在の新世界通りから市場街の商業地区の再生を図るべく、糸満のくらし体感施設糸満市場いとま〜るを中心とした商業機能の充実を図り、以下のような整備方針とします。

- 地域住民の日常利用に加え、観光客の購買ニーズにも対応した新しい施設としての再整備を行います。

- 子育て世帯が快適に利用できる機能やイベントスペースを確保し、地域資源がつながり合うソーシャルキャピタルの醸成を図ります。
- 空家や空き店舗、空地などの既存ストックの活用による新たな商業機能の強化を促進します。
- 市道C3号線およびC11号線の街路（シンボルロード）整備を検討します。

＜スージ小を活かした住環境の整備＞

上之平区から南区に至る昔からの糸満集落は、歴史的に細街路（地割制度：スージ小）が縦横し、その環境を活かしたまちづくりを目指します。

- スージ小の歴史性に配慮しつつ住宅建設や交通環境の改善に向けたスージ小の課題解決を推進し、袋小路の解消を促進します。（細街路のネットワークの確保）
- 細街路と小規模な緑地を併設し、広場の確保を促進します。（ポケットパークの併設）
- 各住宅の庭先として現在の細街路の遊び場としての機能を促進します。（細街路の庭先化）
- スージ小の多い地域では駐車場の集約化を目指します。

＜公共施設を活かしたまちづくり＞

糸満市全体の中心地区としての位置にあり、多くの公共施設が立地する特徴を活かしたまちづくりを目指します。

- 潮崎町での文化交流・情報発信拠点施設の設置と交通の利便性を確保します。
- 既存路線バスの統廃合も含め、公共交通で利用者の利便性を確保します。
- 糸満幼稚園跡地の有効活用を検討します。

②地域資源の保全・整備、快適性の向上に関する方針

＜白銀堂、黄金森、山巔毛を結ぶ緑地の形成＞

糸満発祥の地である上之平の背後丘陵の復旧と高密度市街地でのオープンスペースの確保を目指して白銀堂から山巔毛を結ぶ緑地帯の形成を図ります。

- 白銀堂、黄金森、及び緑地の整備を推進します。
- 丘陵の墓地群の修景と緑化、公園を位置づけます。

＜照屋の集落環境を活かした整備＞

照屋は、字糸満の漁村集落とは異なる本来の農村集落の特徴を活かした整備を促進します。

- 石彫り獅子周辺の整備を促進します。
- 人にやさしい街路や小公園の整備を促進します。

③道路、その他の整備に関する方針

＜糸満ロータリーのラウンドアバウト化＞

- 糸満ロータリーを核とした風情を残し、交通安全性の確保や環境への配慮、災害時における交通機能の確保を目的として整備したラウンドアバウトをはじめ、官民連携による周辺の良好な景観形成を推進します。
- 道路整備にあたっては、糸満地区の風景づくりの核となる景観の形成を進めていきます。

＜通学路の整備＞

- 小、中、高校に至る通学路としての安全な歩行空間の整備を促進します。
- 地域の見守り活動等により、安全・安心な道路空間の形成を図ります。

＜報得川の水質の浄化＞

- 既成市街地内の公共下水道等の整備を促進し、河川の水質浄化を図ります。

